

のり海況速報 第1報 (27-1)

平成27年 9月29日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 9/24：内湾(ふさなみ)、9/28：内房北部(ふさなみ)
 関東・東海海況速報(9/24-29)、東京湾口海況図(9/24-29)
 自動観測ブイデータ(9/24-28)、拓南観測データ(9/29)
 モニタリングポスト(9/24：国交省関東地方整備局)

今年度も当センターで実施する調査結果をとりまとめ、「のり海況速報」として提供いたしますので、ご活用願います。

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温は23～24℃台で、9月上旬からほぼ横ばい状態となっています。塩分は西側が20～28、東側は28～30台で、西側では依然低塩分状態が続いています(図1)。
- ・調査ラインの水温・塩分の鉛直分布では、中央部の水深15m以深に塩分33.5以上のやや高い水塊がみられています(図2)。
- ・内房北部の表層水温も横ばい状態で、23℃台になっています。塩分は30～31台でした。
- ・東京湾口への沖合水の流入はいまのところ少ないようです。

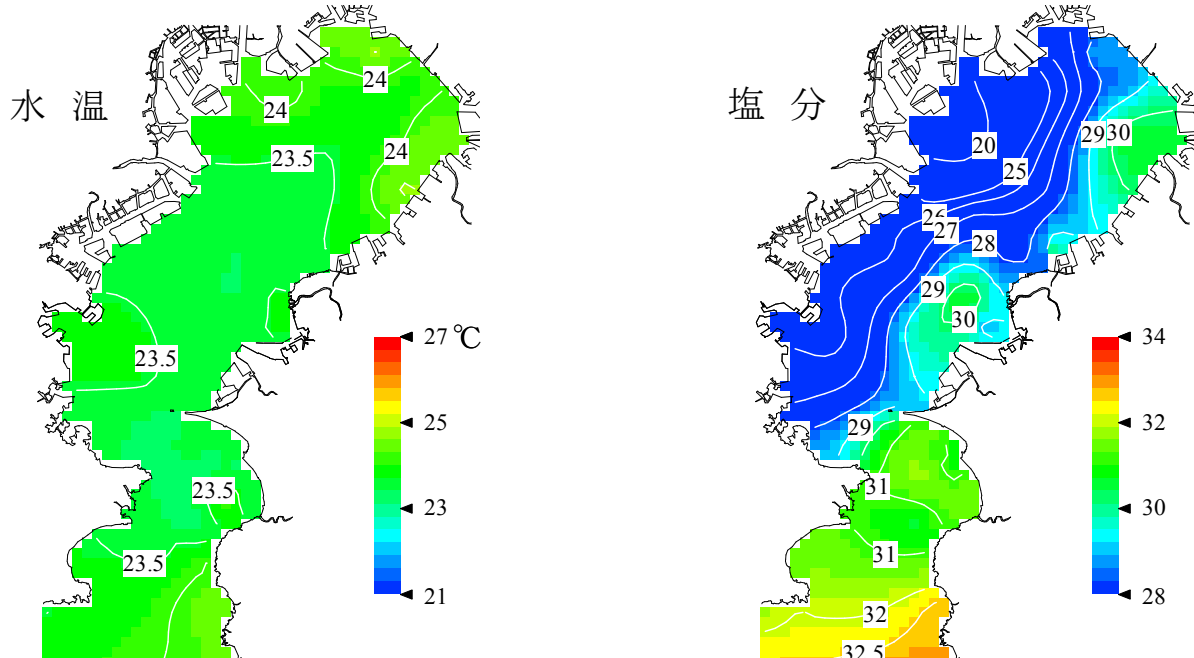


図1 表層の水温・塩分の分布(平成27年 9月24-28日)

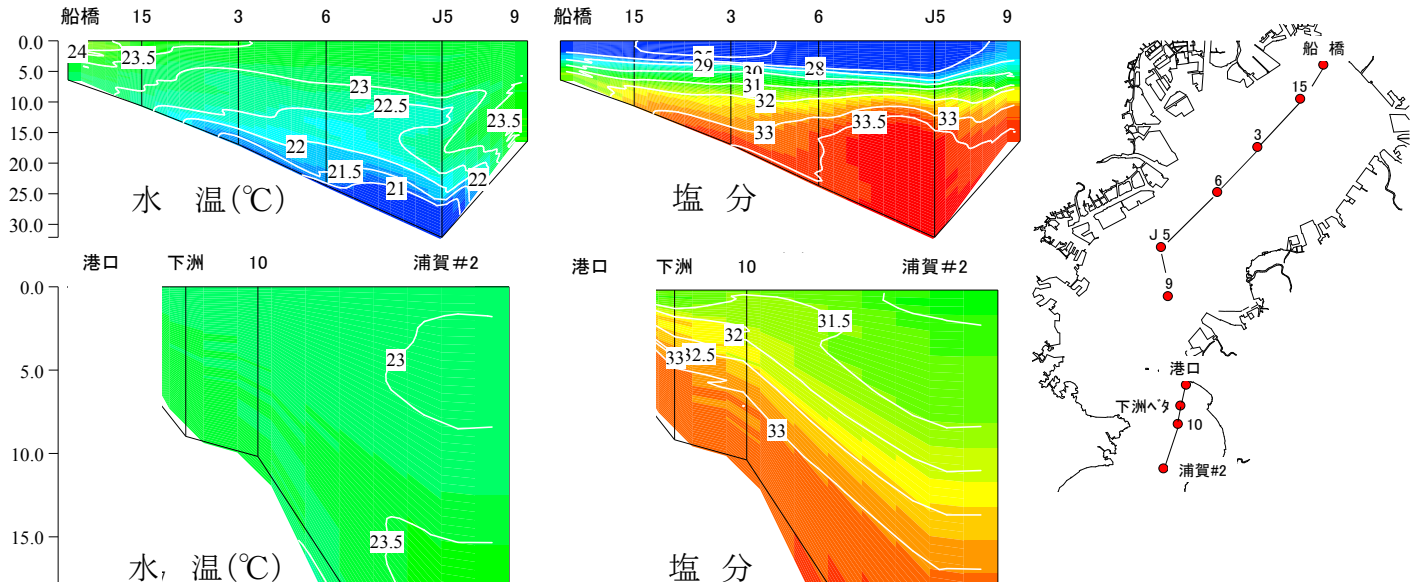


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成27年 9月24-28日)
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- 赤潮は内湾中央から北部海域で発生し、アクアライン以北の西側海域ではpH8.5～8.9、透明度1m前後で、水色も茶褐色を呈する程の濃い状態でした。
- 優占種はケイ藻のスケルトネマとタラシオシラで、シュードニッチアも多くみられていました。
- 表層の栄養塩は窒素(D I N)・リン(D I P)とも内湾で少なく、千葉北部地区ノリ漁場付近ではかなり少ない状態です(図3)。

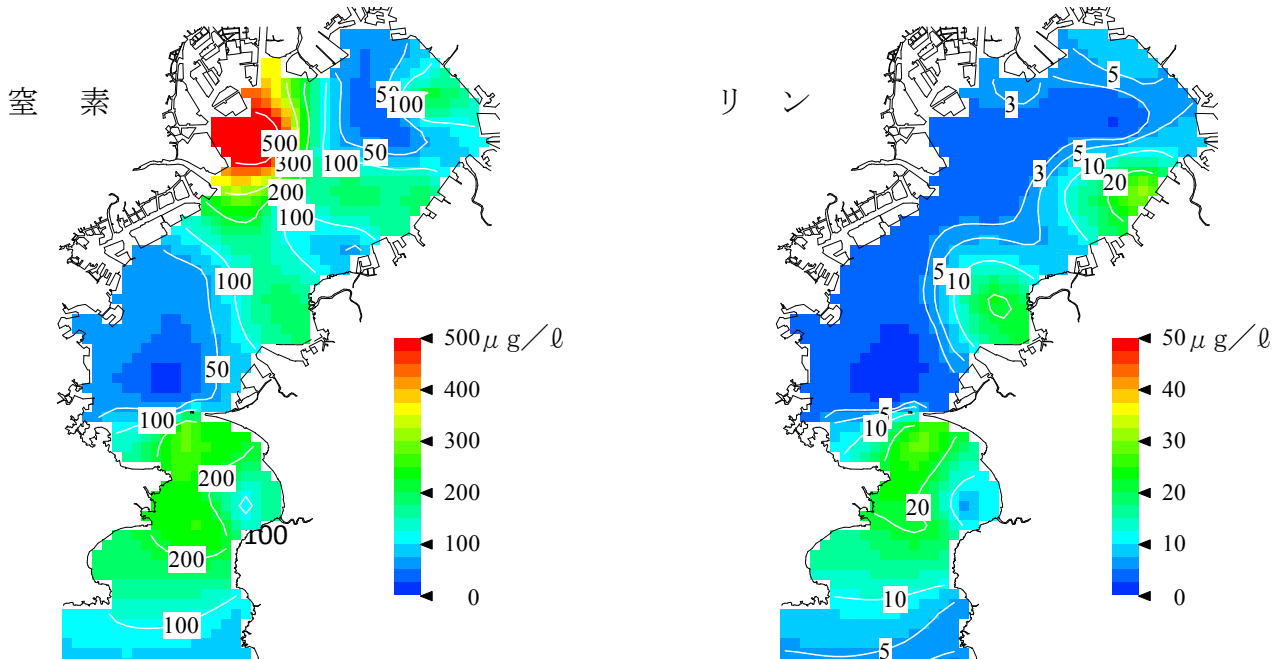


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成27年 9月24-28日)

川養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各川養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”川養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン： http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯： http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbsuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html

本漁期の水温予報は、9月30日から開始いたします。